

赤坂地区版計画書（素案）から区民意見等を踏まえて修正した主な内容

*簡易な修正等については省略し、主な修正点を掲載しています。

1 区民意見（パブリックコメント、区民説明会、区民参画組織）の反映

No	p	赤坂地区版計画書（素案） 〔令和5年10月〕	p	赤坂地区版計画書 〔令和6年1月〕	担当課
2	32	<p>■かがやくまち（赤坂地区の現状） 地域住民の意識 地域住民が考える赤坂・青山の課題の上位5項目のすべてが「かがやくまち」分野となっており、非常に関心の高い分野となっています。</p>	32	<p>■かがやくまち（赤坂地区の現状） 下記のとおり表現を修正 地域住民の意識 地域住民が考える赤坂・青山の課題の上位5項目のすべてが「かがやくまち」分野となっており、非常に関心の高い分野となっています。取組が求められています。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>寄せられた区民意見</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「かがやくまち」及び「はぐくむまち」での赤坂地区の現状の記載で、『関心が高い分野』と同じ表現が使われているので工夫してはどうか。</p> </div>	赤坂協働 推進課
2	36	<p>■主な取組 記載なし</p>	36	<p>道路通報システムの説明文末に、二次元コードを追記します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>寄せられた区民意見</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>道路通報システムの周知が課題であれば、二次元コードを地区版計画書に配置してはどうか。</p> </div>	赤坂まち づくり課
3	60	<p>■はぐくむまち（赤坂地区の現状） 地域住民の意識 地域住民が重要と考える地域事業は、上位5項目のうち3項目が「はぐくむ」分野となっており、関心の高い分野となっています。</p>	60	<p>■はぐくむまち（赤坂地区の現状） 下記のとおり表現を修正 地域住民の意識 地域住民が重要と考える地域事業は、上位5項目のうち3項目が「はぐくむまち」分野となっており、関心の高い分野となっています。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>寄せられた区民意見</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「かがやくまち」及び「はぐくむまち」での赤坂地区の現状の記載で、『関心が高い分野』と同じ表現が使われているので工夫してはどうか。</p> </div>	赤坂協働 推進課

2 区議会の意見を踏まえた修正

No		赤坂地区版計画書（素案）〔令和5年10月〕	赤坂地区版計画書〔令和6年1月〕		担当課
p			p		
1	23	2 施設等位置図 (1) 主な公共施設	23	赤坂コミュニティプラザ及び赤坂地区総合支所の文字を、他の施設より目立たせるよう大きく表記します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 常任委員会における意見 初めて見る人にも分かるように、各地域の総合支所の位置を地図で分かりやすく表記したほうが良い。 </div>	赤坂協働推進課

3 素案公表以降の状況変化等に伴う修正

No		赤坂地区版計画書（素案）〔令和5年10月〕	赤坂地区版計画書〔令和6年1月〕		担当課
p			p		
1	38	現状と課題 ○防災の基本理念は「自助」、「共助」、「公助」です。特に、発災直後に大きな役割を果たす「自助」、「共助」を推進するため、個人や家庭、集合住宅、町会・自治会等の防災知識の向上を図ることが必要です。関東大震災100年を契機とした、赤坂管内の各施設と協働による防災講座を継続し、子どもたちや、子育て世代、高齢者世帯等の防災力向上につなげていきます。	38	現状と課題 下記のとおり表現を追加 ○防災の基本理念は「自助」、「共助」、「公助」です。特に、発災直後に大きな役割を果たす「自助」、「共助」を推進するため、個人や家庭、集合住宅、町会・自治会等の防災知識の向上を図ることが必要です。関東大震災100年を契機とした、赤坂管内の各施設と協働による防災講座を継続し、 「<u>することや令和6(2024)年能登半島地震の甚大な被害状況等を踏まえ</u>、子どもたちや、子育て世代、高齢者世帯等の防災力向上につなげていきます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 変更理由 令和6年能登半島地震を踏まえて記載を修正しました。 </div>	赤坂協働推進課